

被災地障がい者の「働く」を栃木から応援！ とちぎ防災フォーラム2015

「とちぎ防災フォーラム」が3回目をむかえました。今回も、被災地の障がいがある方が作った作業製品が参加者のお土産になります。お楽しみに！ 被災地障がい者の「働く」「生きがい」を応援します。



宮城県気仙沼市 社会福祉法人洗心会ワークショップひまわりのみなさん

とちまるくん承認第260447号

日時

2015年

3月14日(土)

13:30~16:00

(13:00~受付)

会場：宇都宮市立南図書館
サザンクロスホール

参加費：1,000円

(ワークショップひまわり等、被災地の障がい者が製作した製品のお土産付)

定員：100名

締切り：3月6日(金)

講演

新井 英靖 氏

茨城大学教育学部 准教授

『発達障害児者の防災ハンドブック』編著者

「発達障害者に対する福祉避難所の必要性と防災教育」

東日本大震災で避難所を利用した人は約40万人。この中には高齢者をはじめ、障害者、乳幼児、妊産婦、外国人など、避難所生活において特別な配慮を必要とする人たちが多く含まれていました。しかし、自閉症などの発達障害者の家族は、「大勢の人の中では眠れない」とか「周りの人に迷惑をかける」という思いから、避難所に行くことをためらい、危険を承知で自宅に残ったり、車中で寝泊りをした人もたくさんいました。災害時、発達障害者とその家族が安心して過ごすためにはどのような対応が必要か、福祉避難所の必要性と防災教育のあり方を中心に講演の中でお話できればと考えています。

齋藤 康隆 氏

社会福祉法人石巻祥心会 職員

『重症児者の防災ハンドブック』第5章著者

「災害時における福祉施設の対応と役割」

様々な形でご支援を頂きました皆様へ、この場をお借りして御礼を申し上げます。被災沿岸部では、復興住宅がほぼちと完成し、被災者が次のステージへ移行する段階を迎えています。その様な中、災害弱者と呼ばれる方々が地域コミュニティの中からこぼれ落ちてしまわないよう、自助/共助/公助の取組が開始されています。次の暮らしへ向けた復旧から復興期の課題点や大切にしたい事を、一緒に考えたいと思っています。

主催：障がい児者支援とちぎ (tel:090-1838-5625 mail:sstochigi@gmail.com)

後援：栃木県、福島県、宇都宮市、気仙沼市、栃木県教育委員会、宇都宮市教育委員会、栃木県経済同友会、栃木県障害施設・事業協会、栃木県手をつなぐ育成会、益子のぞみの里福祉会、とちぎボランティアネットワーク、トチギ環境未来基地、朝日新聞宇都宮総局、読売新聞社宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、下野新聞社、NHK宇都宮放送局、とちぎテレビ

「とちぎ防災フォーラム 2015」参加申込書

fax 028-333-1310 *添書不要です

もしくは sstochigi@gmail.com まで必要事項を明記してお願いします。

- 1 緊急時の連絡のために電話番号をご記入ください。
- 2 定員に達してご参加いただけない場合には、ご連絡いたします。早めの申込みをおすすめします。

No.	お名前（ふりがな）	所属・役職・連絡先
1		電話番号
2		電話番号
3		電話番号

知りたいこと、関心があることなど下にお書きください。講演の中でできる範囲で取り上げさせていただきます。

会 場

宇都宮市立南図書館

宇都宮市雀宮町56-1（宇都宮工業高校となり）

JR宇都宮線 雀宮駅東口より徒歩3分

（駐車場あり）



お問い合わせ先

090-1838-5625（中田 平日は17:00以降にお願いします）

*フォーラム当日はこちらにご連絡ください。



フェイスブック、ブログやっています！

とちぎ防災フォーラム 2015

検索

